

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／戸田 茂
URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

目次	後援会会長・学部長等挨拶 1	就職活動と支援・就職状況 8～9
	卒業式 2	進学先・就職先一覧（経済学部） . 10～11
	入学式 3	資格取得等報奨制度 12
次	大学紹介 3～6	令和元年度決算・後援会総会 13
	入学状況 4	令和2予算年度・役員名簿 14
	学生活動だより 7	令和2年度学年暦・行事 15～16

会長挨拶 戸田 茂



戸田後援会会長

い今、学生は、家族との会話や肉筆の手紙から、道標を悟ることが多くあります。一方、ご家族には、学生の言動から、その背景にある真意を静かに察知するように努めてください。

厳しい環境下にあるからこそ家族の絆（恩愛）を大切にしてください。不安の多い。

これまでどちらかというと思身であったかもしれない高校生は、大学生になって、その自分を全うする為に「主体性」と「自立」を会得していくと思います。大学での勉強につきましても、先生方とシラバスに任せるとして、ご家族の方々は、精神的な面での道標を教示しながら、静かに見守って頂ければと思います。

経済学部長挨拶

田中英明

学部長職も三度目の春となりましたが、この春は卒業式・入学式の中止、オンライン授業への移行と初めての事態の連続です。こうした緊急事態は、学部が抱えていた問題点や脆弱性を否応なく露呈させてしまいました。また同時に、危機にこそ力を発揮する本学部の強みも強く意識す

データサイエンス学部長挨拶

竹村 彰通

る機会ともなるはずですが、その両面に留意しながら、教職員・学生一体となつて一つ一つ困難に立ち向かっています。後援会の皆様にもこれ以上のご支援・ご協力をいただかなければなりません。そのためにも、学部・大学の現状・課題を迅速かつ詳細に発信していく所存です。

データサイエンス学部はいよいよ4年目となり、新たに105名の4期生を迎えて4学年がそろふこととなりました。1期生は就職活動あるいは大学院進学を控えています。が、新型コロナウイルスの発生で就職活動にも支障が出ており、その心配しております。また今年の4月には大学院博士課程（博士後期課程）を開設しました。これも日本初となります。学部、修士課程、博士課程と組織が整備され、日本におけるデータサイエンスの拠点として体制を固めて行きたいと思っております。

経済学部副学部長挨拶

総務・企画担当 中野 桂

総務・企画担当は9年ぶり2度目となります。この間、社会は大きく変化し、本学でもDS学部が発足するなど、経済学部を取り巻く環境も大きく変わりました。こうした変化を前提に、学部の将来を構想し、カリキュラム改革につなげていく作業を担当します。柔軟でかつバイタリ

ティ溢れる学生が育つための環境整備に全力を尽くします。新しいことをやることは大変ですが、一方で心躍るものもあり、楽しみにしています。

学務・学生生活担当 出原 健一

今年度はコロナウイルス感染予防を考慮した上での開講となりました。教員・学生にとってはオンライン授業という慣れない講義形態、職員にとつては業務増大という状況に置かれています。学務・学生生活担当副学部長として、可能な限り円滑に講義・業務を行えるよう努めてまいりたいと考えております。今後とも引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



後列 山下 出原 各副学部長 岡本副研究科長
前列 中野副学部長 田中学部長

入試・広報担当 山下 悠

経済学部の入試・広報を担当いたします。継続して本経済学部は志願生を多く集めることに成功しており、入試関係の各種ランキングでも上位に位置していることと思いません。今年度からは総合型選抜（AO入試）が始まります。優秀な学生を適切に集めることができるよう職務に邁進いたしますので、引き続き暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

**大学院経済学研究科
副研究科長挨拶 岡本 哲 弥**

今年度、副研究科長を担当致します。社会ではデータサイエンス・AIなどの活用が求められる中、経済学研究科におきましても文理融合の観点から機能強化を検討しています。滋賀大学の伝統や強みを活かして、学術的成果に留まらず、社会的ニーズにも対応できるように教育カリキュラムの見直しを進めて参ります。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**データサイエンス学部
副学部長挨拶**

総務・企画担当 榎田 直 木

昨年に続き総務・企画担当を拝命しました。これまで空席だった学部・博士前期課程の最高年次に学生

が進級し、就職・進学が決まる段階となりました。日本で初めてのデータサイエンスに関する大学の真価について世の評価を社会から受けていくこととなりますが、DS教育研究の先導役としての滋賀大学の務めを今後果敢として参ります。これからも御支援をお願いします。

学務学生生活担当 佐藤 智 和

今年度より学部学生の学務と学生生活を担当いたします。データサイエンス学部では、コロナウイルスへの対応として全ての講義をオンライン化しました。この難局がいつまで続くか見通せない現状ではありますが、当面はオンラインでの学生指導で対応していきます。後援会の皆様も大変な状況であるとお察しいたしますが、引き続き本学学生へのご支援を頂ければ幸いです。



後列 佐藤 榎田 各副学部長
前列 椎名副学部長 竹村学部長

入試・広報担当 椎名 洋

今年4月よりデータサイエンス学部の入試・広報担当副学部長を拝命しました。データサイエンス学部の知名度もかなり高まり、AO入試で意欲の高い受験生を入学させることができるようになりました。一方で、一般入試における倍率はまだ向上の余地があり、さらなる広報の必要性もあるかと思えます。引き続き、後援会の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**大学院データサイエンス研究科
副研究科長挨拶 清水 昌 平**



清水副研究科長

本年度、日本初のデータサイエンス研究科博士後期課程が本学に開設されました。

育成人材像は、「データサイエンスに関する新たな基盤技術を生み出し、新たな価値創造の「場」の開拓につなげることが出来る」人材です。初の入学者は、社会人3名でした。卓越した研究力を有しデータから価値を創造するデータサイエンスティストとして育っていただければと思います。



令和元年度卒業式・修了式につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の可能性に鑑み、卒業生・修了生、ご家族ならびに関係者の皆様の安全確保を最優先すべきとの判断から、中止となりました。

例年、卒業式におきましては、学部、大学院、専攻科から特に学業成績が優秀だった方が代表者として卒業証書等の授与を受けるとともに、学部において在学期間中に最も優れた学業成績を挙げられた方は学業成績優秀者学長賞の表彰を受けられることとなっております。

代表者及び学業成績優秀者に選ばれることは、非常に名誉なことでありますとともに、それぞれの方々の不断の努力に敬意を表しまして、以下にご紹介させていただきます。

卒業証書等授与代表者

教育学部

学校教育教員養成課程 赤田 恵実

経済学部

経済学科 小林 菜々子

大学院教育学研究科

修士課程 学校教育専攻 吉岡 陽和

大学院教育学研究科

専門職学位課程 高度教職実践専攻

沢村 志穂

大学院経済学研究科

博士前期課程 経営学専攻

NATSUPHA SRIMAWITSET

特別支援教育専攻科

障害児教育専攻

森本 陽子

大学院経済学研究科

博士後期課程 経済経営リスク専攻

野林 晴彦

郭 舸韜

学業成績優秀者学長賞表彰者

教育学部

学校教育教員養成課程 土井 晴菜

経済学部

経済学科 小林 菜々子

なお、大学HPに卒業生・修了生の皆様への学長メッセージが掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



令和2年度入学式

令和2年度入学式につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の可能性に鑑み、新入生・ご家族ならびに関係者の皆様の安全確保を最優先すべきとの判断から、中止となりました。

なお、大学HPに新入生の皆様への学長メッセージが掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



大学紹介

経済学部の現況

経済学部長 田中英明

〈全面的なオンライン授業へ〉

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、経済学部の授業は全面的にオンラインで行われています。

3月下旬に入学式の中止が決まった際に、学部としても事態の長期化に備え、登校できない学生も履修できるように、すべての授業でオンラインでの遠隔授業が実施できるよう準備を開始しました。

4月初めには、まだ滋賀県内の感染者は非常に少ない状況でしたが、今後の混乱を避け教育水準を維持するために、春学期について教室での対面式の授業を実施せず、全面的にオンラインのみの授業とすることを、まずは学部の教授会で決定しました。ちなみに、この教授会は私達教職員がまずWeb会議システムに習熟することも狙いとしてZoomというツールを導入して実施しました。大学としても授業開始を4月20日に約2週間遅らせ、準備期間とすることにになり、やがて全学部ともオンライン授業のみへと足並みが揃うことになりました。

なにしろ想定外の事態でしたので万全の準備とはいきませんが、その後政府による緊急事態宣言、自治体による休業要請と事態の悪化が続く中、予定通り20日に授業を開始することができました。おりしもこの日より学生の構内への原則立ち入り禁止が始まり、例年なら学生でごった返す一年で最も賑やかな時期に、冷たい風吹く閑散としたキャンパスとなりました。

〈オンライン授業の実際〉

オンライン授業にあたり懸念されるのが学生のネット環境と、学習用機器の所有状況です。4月初めの調査では85%以上の学生が無制限に利用可能な回線を有し、パソコン・タブレットの保有率も9割を越えています。

また、大学もノートパソコンの無償貸与を実施し、職員の方々が履修登録の状況をみながら懸命に電話での個別相談等を通じ、学生の学習環境の確保に努力しています。

本学部のオンライン授業は二つの形態で実施しています。ネット環境への配慮から中心となるのは「オンデマンド型」です。SULMS（滋賀大学学習管理システム）やSUCCESS（滋賀大学キャンパス教育支援システム）を入口に、電子教材や課題を提供し、学生は自分のペースで学習していきます。経済学部の教員の多くは従来からプレゼンソフトで作成したスライドをスクリーンに提示していましたが、それらを自学用に修正した上で解説の音声や動画のファイルを作成して提供しています。さらにSULMS等の課題とそれに対するフィードバック、掲示板やチャットなどの機能で、質疑応答や意見交換・発表の機会を確保することに努めています。

また、ゼミなどの演習や語学など、学生の主体的な参加や同時双方向のコミュニケーションが必要な科目では、ZoomやMicrosoft TeamsなどのWeb会議ツールを使った「リアルタイム型」授業も実施しています。

まだ中途ではありますが、教員と学生との関係という点では、当初の予想以上に教育効果が期待できそうです。

この数年、経済学部が力を入れてきたのは、飛び出せキャンパスを合言葉とする新しい学びの形です。

〈課題と希望〉

私達も遠隔でも実施できるグループワークのあり方を懸命に模索しております。そして、学部教育にとって今回のコロナ禍の最大の影響もこの点に関わっています。

問題は、教室や演習室では当たり前であった学生間の交流が大変難しくなっているところでしょう。学生生活の少なからぬ部分が、友人・先輩後輩とのコミュニケーションに負っていることは言うまでもありませんが、教育効果に限っても学生間の学びあいや相互の刺激の役割は大きいようです。

Web会議による対面型授業も、教員にとって一人一人の学生とじっくり向き合うことが可能で、学生からは常に先生と「差し向かい」で息が抜けないといった声も聞こえてきます。

一時停止や巻き戻しも可能な音声・動画ファイルは、知識の習得という点では教室での一方の講義にはない利点もあります。学生にとっては、各授業で実施される課題やレポートもあって、例年よりも学習時間が増加しているようで、学生の学びたいという意欲や興味に配慮した教材づくりに努めています。



令和2年度 入学状況

入学試験状況

学 部 名	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
経済学部	中間主コース	410	3,053	1,709	514	411
	夜間主コース	50	206	186	77	50
	3年次編入	20	111	85	36	25
データサイエンス学部	100	444	341	116	105	

【大学院】

研 究 科 名	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
経済学研究科	博士前期課程	32	38	31	21	19
	博士後期課程	3	1	1	1	1
データサイエンス研究科	博士前期課程	20	31	31	24	24
	博士後期課程	3	3	3	3	3

滋賀大学入学者一覧

経済学部	486(*)		
データサイエンス学部	105		
教育学部	233		
大学院	経済学研究科 博士前期課程	19	
	経済学研究科 博士後期課程	1	
	データサイエンス研究科	博士前期課程	24
		博士後期課程	3
	教育学研究科	修士課程	27
		教職大学院	17
特別支援教育専攻	10		
入学者合計	925(*)		

* マレーシア政府派遣留学予定者3名は外数

都道府県別入学者数

【経済学部（3年次編入は除く）】

北海道	1	0.2%	石川県	5	1.1%	奈良県	23	5.0%	福岡県	4	0.9%
青森県	1	0.2%	福井県	11	2.4%	和歌山県	6	1.3%	長崎県	3	0.7%
宮城県	1	0.2%	長野県	4	0.9%	鳥取県	6	1.3%	熊本県	2	0.4%
茨城県	1	0.2%	岐阜県	24	5.2%	島根県	5	1.1%	大分県	1	0.2%
栃木県	2	0.4%	静岡県	10	2.2%	岡山県	7	1.5%	宮崎県	3	0.7%
群馬県	1	0.2%	愛知県	68	14.8%	広島県	6	1.3%	鹿児島県	2	0.4%
埼玉県	5	1.1%	三重県	15	3.3%	山口県	1	0.2%	沖縄県	2	0.4%
千葉県	1	0.2%	滋賀県	55	11.9%	徳島県	1	0.2%	留学生	10	2.2%
東京都	4	0.9%	京都府	62	13.4%	香川県	3	0.7%	その他	2	0.4%
神奈川県	2	0.4%	大阪府	39	8.5%	愛媛県	3	0.7%			
富山県	4	0.9%	兵庫県	53	11.5%	高知県	2	0.4%	合計	461	100.0%

【データサイエンス学部】

北海道	2	1.9%	福井県	3	2.9%	大阪府	16	15.2%	宮崎県	1	1.0%
茨城県	1	1.0%	長野県	1	1.0%	兵庫県	6	5.7%	鹿児島県	3	2.9%
群馬県	1	1.0%	岐阜県	3	2.9%	奈良県	2	1.9%	沖縄県	2	1.9%
東京都	4	3.8%	静岡県	2	1.9%	広島県	2	1.9%	その他	1	1.0%
神奈川県	2	1.9%	愛知県	8	7.6%	香川県	2	1.9%			
新潟県	1	1.0%	三重県	1	1.0%	愛媛県	3	2.9%			
富山県	1	1.0%	滋賀県	26	24.8%	福岡県	1	1.0%			
石川県	1	1.0%	京都府	8	7.6%	熊本県	1	1.0%	合計	105	100.0%

嬉しいことに、留学やインターンシップなどでの海外挑戦や、地域の企業・商工会議所や自治体等の協力のもと現実の社会課題に取り組みプロジェクト科目などでたくましく育つ経済学部生に目を見張るといふ機会が本当に増えてきました。

こうした貴重な体験の場、学びの機会が、いま決定的に奪われてしまっています。

多くの生命に関わる緊急の事態とは言え、学生にとっては本当に貴重な一日一日です。事態の収束後に可能な形で、真つ先に積極的・実践的な学びに挑戦できるよう、学部側も学生の側も準備を怠らないことが肝要でしょう。

他方、経済学部が取り組んでいるオンライン授業の手法は、実は教室での講義をより主体的な学びに転換していくための必要性を強く認識していたものでもあります。例えば、動画による事前学習を前提とした「反転学習」によって、教室では活発な意見交換を通じてより深く・実践的に学ぶことができるようにと、新たなツールの習熟・情報交換・授業準備に費やしているこの日々の労力が、ポスト・コロナでこそ大きく花開く、そうした希望に私達は支えられています。

〈おわりに〉

教職員一同、学生とともに、助走

もなく、走りながら考え、考えながら走ってきました。本当に十分な学習環境を用意できているのか、とりわけ学生の経済状況の把握と支援という点では心許ない限りです。

学生にとっては無論のこと、学部にとつても、今日のこの屈みが明日の大きな跳躍につながりますよう、ご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

竹村 彰通

今年の新学期は、コロナウイルスの影響で、例年とは全く違うスタートとなりました。短期間にこのような大きな変化が起きたのは大きな驚きです。個人的にも3月の中旬にはドイツでの学会への出張を計画していましたが、出発の2日前になって学会がキャンセルとなりました。学会がキャンセルになった時は、日本よりヨーロッパのほうがコロナウイルスの感染は少なかつたのですが、その後ヨーロッパで急激に感染が広がりました。その後の一か月で感染は世界中に広がり、特にアメリカが感染者数最大となりました。

滋賀大学では、例年と同様のペースで仕事を進められたのは2月半ばの昨年度秋学期の期末試験まで、2月下旬の前期日程入学試験実施の

時から感染者を想定した対応策打ち出し始めました。幸い、入試は無事に済んだものの、新学期の授業開始が危ぶまれる状況になりました。学内でのコロナ対策会議が頻繁に開かれるようになり、日々の状況変化に応じて数日ごとに方針を改める必要に迫られました。まず、3月の卒業式が、集団感染のリスクから中止やむなしとなりました。2017年設立のDS学部にはその時点では卒業する学生はまだいなかったものの、DS学部と縁のあった経済学部・教育学部の卒業生のことを思うと大変残念なことでした。明けて4月、入学式・後援会総会は中止となり、保護者の皆様と新入生の門出を同じ場所で祝うこともあきらめざるをえないことになりました。これに続いて、オリエンテーションの縮小実施、授業は対面では一切行わないオンライン実施、さらにキャンパスへの学生の原則立入禁止措置、と次々とより厳しい感染対策が決定されていきました。

データサイエンス学部では比較的早い時期からオンライン講義の準備を進めていました。特に博士前期(修士)課程の授業については、3月上旬には新学期の最初からオンライン講義を併用すること、また講義日程の当初の4月8日開始の変更はしないことを決めていました。これは定員20名の学生全員が常に同じ1つの教室で授業を受ける形態である

こと、また院生の大半が企業等派遣の社会人であることからオンライン授業に必要なパソコンやネット環境の心配はないといった事情がありました。オンライン講義にはビデオ会議サービスZoomを用いることとし、教員全員分に講義配信用のライセンス契約をおこないました。果たして大学院の講義はZoomを用いて非常にスムーズに開始でき、オンライン講義で大学院の講義を継続できる見込みが立ちました。

学部の講義開始は全学で2週間延期され、4月20日(月)と決定されました。データサイエンス学部では学部の講義もZoomなどを用いておこなうこととし、学生にもアナウンスして準備を進めていました。当初は少なくとも初回の講義は学生が登校して、オンライン講義の受講方法を習うこととしていたのですが、4月17日(金)になって大学として学生の構内立ち入り禁止措置を発表し、初回からオンライン講義のみの実施となりました。データサイエンス学部の学生は、ノートパソコン購入を必須としていますから、パソコンについて心配はなかつたのですが、一番の心配は通信環境でした。通信環境がスマートフォンやタブレットの容量制限つきプランのみの学生は、動画を含むオンライン講義を視聴すると容量制限を超えてしまい、多額の通信料が発生する可能性があります。当面は携帯電話会社が学生に對

しては容量制限を超えた分を無料とする措置をしておりますが、今後も通信料の問題は残ります。幸い、学生へのアンケート調査の結果では、ほとんどの学生が容量制限のない通信環境を持っており、オンライン講義は順調に進んでいます。今後の不安材料の一つとして、企業等でも在宅勤務が進みビデオ会議サービスの利用も急激に伸びていることから、サービス全体が重くなってしまう点も懸念されます。

オンライン講義は、コロナウイルスの影響に対する応急措置的なものですが、始めてみると、学生に対する資料の提示が容易であるなど、いくつかの利点があることもわかりました。コロナウイルス終息後もオンライン講義の形態も一部残るのではないかと予想されます。

以上のように、コロナウイルス対応に追われている現状ですが、昨以降のデータサイエンス学部・研究科の進展について簡単に報告します。データサイエンス学部が発足した2017年4月に入学した1期生はついに最終年次の4回生となり、現在、就職活動の最中です。その多くはこれまでのインターンシップにより企業とのつながりをすでに作っており、良い結果が得られるものと期待しています。昨年4月にはこれもわが国初となる大学院データサイエンス研究科修士課程（博士前期課程）を定員20名で開設しました。

また、今年の4月には博士後期課程も発足し、定員3名のところを3名が入学しました。これにより、滋賀大学にはデータサイエンスの学部から博士後期課程まで整備され、日本における最大級のデータサイエンス教育研究拠点の形が完成しました。スタッフの強化も進めており、この4月には40名近い教員の体制となっており、延べ150件をこえる企業等との連携（共同研究、受託研究等）を進めています。また、来年4月には1期生のうち2割程度が修士課程に進学するものと予想されることから、修士課程の定員を40名に増やす予定です。

以上、データサイエンス学部の状況についてご紹介させていただきましたが、誰も体験したことのない状況の中で、我々スタッフも全力で本学部のさらなる発展に努めてまいります。今後とも、後援会の皆様方の変わらぬご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

キャンパス整備の現況

〜講堂リニューアル工事が竣工しました〜

滋賀大学講堂は、1924年（大正13年）に経済学部の前身である彦根高等商業学校のシンボリック建物として建設されたもので、大正時代における旧専門学校講堂の典型的な建築様式として代表的なものです。

小屋裏排気塔を屋根上にドーム型とし、ドーマー窓型換気口を6か所設けるなど、現存する学校建築としては数少ない貴重なものとして、2001年に国の登録有形文化財に指定されました。また、その趣きも高く評価され、多くの映画の舞台にも使用されてきたところです。

しかし、2015年に耐震性能に問題があることが判明し、使用できない状況が長年続いていたところ、文部科学省から整備予算が措置され、2019年に改修工事が始まり、この度竣工しました。

この改修工事により、安心安全を確保するための補強はもちろん、外観は当時のままのイメージを維持しつつ、学内行事や地域活性化に貢献するための大空間で厳粛な空気が漂う講堂施設及び企業連携や学生交流を推進するための教育研究スペースが拡充されました。



伝統を醸し出す講堂正面



講堂側面から彦根城の望む



格調高き講堂ホール



多様で活発な交流の場となる多目的ホール

学生活動だより

滋賀大学学長賞について

令和元年12月29日及び令和2年3月26日に令和元年度第3回及び第4回滋賀大学学長賞授与式が行われました。

滋賀大学学長賞とは、①「極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた学生」、②「課外活動や、文化・社会活動などで特に顕著な成果・功績のあった学生・団体」を表彰するものです。

授与式では、位田学長から受賞者に表彰状と楯、副賞が授与されました。いずれも滋賀大学の名誉を大いに高めた功績を称えられました。各受賞団体等と受賞理由については以下のとおりです。(彦根キャンパスの学生関係のみ)

- 経済学部 一瀬 美玖
- 第57回近畿地区国立大学体育大会 バトミントン女子 シングルス 準優勝
- 経済学部 福井 新大
- 第41回全国国公立大学空手道選手権大会男子個人戦 優勝
- 漕艇部
- 2019年度関西選手権競漕大会 一般男子舵手つきフオア 第3位

バレーボール部

第56回近畿地区国立大学体育大会 バレーボール男子 準優勝

第57回近畿地区国立大学体育大会 バレーボール男子 準優勝

ソフトテニス部

第8回全日本国公立大学対抗大会 優勝

放送研究会

第36回NHK全国大学放送コンテスト映像CM部門 第3位
学生広報サポートチーム
大学広報への貢献



学長を囲む受賞者達

大会優勝者メッセージ

空手道部

福井 新大

「一回戦敗退」、それが一回生のときの屈辱的な結果でした。中学、高校と空手に全力投球し、数々の大会で優勝してきたにも関わらず、予選突破すら出来なかったという事実

に、自身への怒りと悔しさが募りました。しかし、同時に「この舞台で優勝するまで撤退しない」、そう決意しました。

その日から二年間、基礎に立ち戻り地道に鍛錬を積み重ねました。三時間ぶっ続けで技の練度を磨く部活の鍛錬は想像を絶する過酷さでしたが、「国公立で日本一を獲る」という夢に向かって、仲間とともに全てを捧げる気持ちでやり通しました。



男子個人形競技での雄姿

最終学年の大会が近づくにつれ、限界まで練習したという自信とは裏腹に、不安と緊張に悩まされました。今日に至るまでの取り組みが思い出され、もし失敗したらと胸が締め付けられました。試合直前、瞑想をしながら、座右の銘である「無欲無私」を頭の中で反芻しました。目を開けると、部活動の仲間達、応援に駆けつけて下さったOBの方々やしびれる様な声援が耳に届きました。覚悟を決め、一心不乱に形を打った結果、優勝することが出来ました。

自身の夢であった目標を達成出来たのは、白熱した部活の練習環境と夢に向かってともに駆け抜けた仲間のおかげです。後輩が率いる第66代空手道部が始動していますが、部の目標はもろろん「全国公優勝」です。今後とも、滋賀大学の名に恥じぬよう、空手の世界でも歴史を刻むよう、全員で決意を新たにしていきます。

ソフトテニス部(男子)

佐藤 舟将

日本一になることができるとも嬉しいです。これも普段よりご支援頂いているOB、OGや周囲の方々の支えのおかげであると感じています。ありがとうございます。

昨年度3位になった際に、自分たちには優勝を狙えるだけの實力があると確信し、今大会も優勝を目標としていました。エースの長谷川・小吹ペアの調子が今ひとつ上がらない中、他の2ペアでカバーできたのはとても大きかったと思います。チームとしての団結力がもたらした優勝であったと思います。

この結果

に慢心せず、更によい結果を求め、練習に励んでいきたいと思えます。



チーム全員で栄冠を手にして

就職活動と支援

就職支援について

経済学部特任准教授
就職支援室長 入江直樹

後援会の皆様におかれましては、平素より経済学部の支援活動に多大のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また今回のコロナウイルス感染において後援会の皆様におかれましては日常生活にまで影響を及ぼす事態となっており、心よりお見舞い申し上げます。心より早く終息し、再び平穏な日が参りますことを切に願っております。

学生にとりましては今回も想像を絶する体験で、特に新入生は右も左もわからないままに大学生となり、顔を合わせない形で講義を受け、情報機器ツールを駆使して何とか食らいついていくところです。我々大学教職員はこれら学生の苦悩と努力に報いるためにも前を向いて新しい滋賀大学を築く絶好のチャンスと考えて行動していきたいと思えます。後援会の皆様におかれましてはこれまで以上のご支援賜りますよう改めてお願い申し上げます。

大学が整備している就職支援体制

本学では学生の就職活動をサポ

トするために様々なシステム、制度を導入しております。これらによって学生が効果的、効率的に就職活動を進めることができます。また学生の就職活動を専門演習担当教官、就職委員会、就職支援室、学生支援課がこれをサポートします。それでは就職活動をサポートするシステム、制度をご紹介します。

① 滋賀大学キャンパス教育支援システム (SUCCESS : Shiga University's Campus Computer Education Support System)

就職支援室ではこのシステムを利用して就職情報やインターンシップ情報についてタイムリーに情報を提供します。刻々と変化する外部情報、学内での企業説明会、企業からの連絡、滋賀大学だから持ち得る求人情報などを学生に発信しております。学生とのコミュニケーションツールとして効果的に機能しているシステムです。

② 彦根キャンパス求人情報提供システム

自宅や下宿など彦根キャンパス外からもアクセスできる彦根キャンパス在学生専用求人情報システムです。滋賀大生を採用したいという企業の求人情報などを提供します。学生が企業研究のための資料として活用することもできます。またこのシステムを利用してインターンシップ募集情報も提供しております。

③ 就職支援室での就職相談

進路・就職に関する様々な相談に対応しています。毎日9時から17時まで受け付けています。主な相談内容は、

- 進路選択についての相談
- 個人面接、集団面接の模擬訓練
- エントリーシート、履歴書の添削
- 求人票送付企業の紹介

などです。時間内であれば予約なしで対応しております。

昨年度は695名(前年比+73名)の学生から1,267件(前年比+18件)の相談がありました。

④ 就職支援室での情報提供

● 企業・団体からの求人情報・企業説明会情報をタイムリーに提供しています。

● OB/OG訪問のための情報を提供しています。

● 就職活動関連の書籍・雑誌・日経新聞等が自由に閲覧できます。

● 大学連携及び公募型インターンシップに関する情報を整理して提供しています。

● 公務員、大学院、税理士等専門職に関する情報を提供しています。

● 室内のパソコン(4台)を自由に利用でき、自発的な情報収集をサポートします。

● Web面接対策として就職支援室内に専用ルームを設けて学内で企業とのWeb面接に参加することができます。

⑤ 1回生から4回生まで幅広く実施されるキャリア教育や就職ガイダンスなどの充実した独自の支援プログラム

これらのシステム・制度を用いて学生を支援して参ります。

本学卒業生による就職支援体制

本学の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、次のような支援が準備されています。

① 学内合同企業説明会

本年はコロナウイルス感染予防のために学内で開催できませんでしたが、これまで3月に実施し、卒業生が就職してお世話になっている企業で、有名大手企業中心に200社程度の企業・団体がご参加くださっております。

② 陵水懇話会

卒業後25年の先輩たち10数名にお見えいただき、業界紹介を中心に、働くということにつき、いろいろと懇談してもらいます。昨年は約200名の学生が参加しました。

③ 陵水若手卒業生による就活相談会

陵水懇話会と比較してより学生に近い年代の先輩たちが自主的に運営してくれている相談会です。卒業後10年未満の先輩たち十数名が出席され、学生たちも毎回50名程度が参加しています。年2回開催です。学生は若手社会人ならではの本音の話し

を聞くことができます。

④ 陵水会計人会懇談会

伝統的に卒業生の公認会計士とか税理士を多数輩出しておりますが、本学の学生たちにも志望者は沢山います。先輩たちの現役の会計士・税理士の方をお招きして、会計士・税理士の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇談会です。

⑤ 女子学生のための陵水OGキャリアガイダンス

女性の働く力が大いに求められる時代になって参りました。働くOGと女子学生による女性同士ならではの懇談会により、働く女性のロールモデル形成に努めています。

⑥ 支部別就職支援行事の開催

名古屋支部、大阪支部を中心に各支部でその地域で活動するOBが学生に地域ならではの情報を伝えるイベントを開催していただいております。

これら以外にも学生のOBOG訪問など様々なところで卒業生の方々のご支援をいただいております。

本学の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの90余年の伝統を受け継ぎ、金融・保険・商業・製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍していますが、官公庁・教育界・学界へも進出しています。

就職状況

令和元年度就職状況について

経済学部特任准教授
就職支援室長 入江直樹

経済学部の就職決定率は、一昨年度(97.7%)を0.6ポイント下回る97.1%。

*就職決定率

II 就職決定者/就職希望者

業種別就職先割合では、製造業20.9%、金融業16.7%、情報通信業15.4%とこの3業種で約半数を占めております。続いて、官公庁、卸売業、小売業となっております。データサイエンス学部の影響もあり、情報通信業を選択する学生が増えております。Society 5.0(1)という新しい世の中の流れに置いて、この傾向は益々強くなるのではと思われま

す。企業規模別では、大企業への就職率が約6割と大企業志向は伝統的に変わらないといえます。大企業に拘った就職活動によって思うような成果を得られない学生がいる一方でベンチャー企業を希望して活動する学生もおります。また卒業後すぐに起業したいという学生もおりまして、学生の進路選択が更に多様化していきのびと感させられる傾向にあります。企業側の求人数はこれ

までと変わらないものの、いわゆる一般職、事務職の求人は激減しています。これらの業務はAIに置き換えられ、思考を伴わない業務を人が担うことは無くなってきているように感じます。仕事に対して執着しない、とにかく会社に潜り込めれば良い、と考えている学生にとっては辛くて苦しい就職活動であったのではないかと思えます。

*1: Society 5.0

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society) 狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。(内閣府HPより)

令和2年度の就職戦線について

令和2年度の就職戦線は夏のインターシップを実施する企業が増え、またこのインターシップが本来あるべき就業体験を目的とするものから採用の手段として実施されるように変わりつつありました。またIT業界を中心に若干の選考早期化も見られました。しかし、大きな流れはこれまで通りに進んでおりました。しかし2月中旬からコロナウイルス関連で世の中が様変わりをしてきた。政府対応、大学の動き、企業の新たな活動、など我々がこれまで

経験したことのない動きになっております。就職関係では早期選考を実施していたIT業界は3月頃にほとんどの会社で最初の母集団で内々定を決めておりました。またインターシップに参加した学生を対象に選考を実施した会社も早期に内々定を出しております。通常の採用活動を行う企業にとっては会社説明会、面接などが実施できない状況にあり、大量の学生を評価する体制が取れません。Webでの面談も人数に限られますので細々と活動を続けていると思われま

す。本学学生も自宅もしくは彦根近郊での一人暮らしをしながらオンラインで講義を受けながら就職活動を行っております。これらの学生に対しては電話、メールでのサポートを実施しております。また必要に応じてTeamsやZoomでの面談を実施しております。また就職活動に必要な各種証明書の発行は書面で依頼を受けると大学側で発行して自宅に送付しております。また通常は生協で販売している大学専用履歴書を就職支援室で代理販売を行い自宅に送付しております。どのような形でも常に学生に寄り添い、学生が望む仕事に就くことができ、それを不変の目標としてどのような状況になりましたも学生最優先で活動して参ります。今後もお支援賜りますようお願い申し上げます。

会社名	計	男	女
116 株オカムラ	1	1	
117 株ノリタケカンパニーリミテド	1	1	
118 日本電気硝子株	1		1
光熱水業			
119 中部電力株	1	1	
120 九州電力株	1	1	
121 北陸電力株	1	1	
122 関西電力株	1	1	1
123 株FD	1	1	
情報通信業			
124 アビームシステムズ株	3	1	2
125 株インテック	1	1	
126 NECソリューションイノベータ株	1	1	1
127 株大塚商会	1	1	
128 株JSOL	1	1	
129 株システムサポート	1	1	
130 スミセイ情報システム株	7	7	
131 株電算システム	1	1	
132 ニッセイ情報テクノロジー株	3	1	2
133 日本情報産業株	1	1	
134 フコク情報システム株	1	1	
135 株NTTドコモ	1	1	1
136 株テック・エス・シー	1	1	
137 NTTコミュニケーションズ株	1	1	
138 株シノプス	1	1	1
139 株NTTデータアイ	1	1	1
140 株ヴァリユーズ	1	1	1
141 NRI ネットコム株	1	1	
142 京セラコミュニケーションシステム株	3	3	
143 ジェイエスフィット株	1	1	
144 楽天株	2	1	1
145 西日本電信電話株	3	3	
146 株トヨタシステムズ	3	1	2
147 株ベルシステム24	1	1	
148 株NSD	5	1	4
149 株オービック	3	2	1
150 株システムリサーチ	1	1	
151 株トラックス	1	1	
152 株富士通ソフトウェアテクノロジーズ	1	1	1
153 株滋賀富士通ソフトウェア	1	1	
154 日本システムランド株	1	1	
155 株SRA	1	1	1
156 株ベーシック	1	1	1
157 日本ビジネスシステムズ株	1	1	1
158 株ジャステック	1	1	
159 株エビリー	1	1	
160 日商エレクトロニクス株	1	1	
161 三菱スペースソフト・ウエア株	1	1	
162 セイコーソリューションズ株	2	1	1
163 プリヂェストンソフトウェア株	2	2	
164 株VOYAGE GROUP	1	1	1
165 株内田洋行ITソリューションズ	2	1	1
166 株ユニシス	1	1	
167 アンドール株	1	1	
168 株東洋	1	1	
169 ナビオコンピュータ株	1	1	
170 カルー株	1	1	1
171 株コミュニケーションテクノロジーズ	1	1	
172 株KYOSO	1	1	
173 東海ソフト株	1	1	
174 合同会社VIA	1	1	
175 豊田通商システムズ株	1	1	
176 株コスモネット	1	1	1
177 株NTTデータビジネスシステムズ	1	1	1
178 株ベイストリーム	1	1	
179 兼松エレクトロニクス株	1	1	
180 株エイエイエスティ	1	1	
181 ユニアデックス株	1	1	
182 ICSパートナーズ	1	1	1
183 株富士通エフサス	1	1	
184 株ISD	1	1	1
運輸業・郵便業			
185 西日本旅客鉄道株	1	1	
186 ジャンボフェリー株	1	1	
187 西日本鉄道株	1	1	
188 近江鉄道株	1	1	
189 三菱倉庫株	1	1	
190 阪九フェリー株	1	1	
191 東武鉄道株	1	1	
192 日本航空株	1	1	1
193 株AIT	1	1	
194 三菱ロジスネクスト株	1	1	
195 東陽倉庫株	1	1	

会社名	計	男	女
39 積水成型工業株	1	1	
40 高圧ガス工業株	1	1	
41 住友理工株	1	1	
42 日本農業株	1	1	
43 フクビ化学工業株	1	1	
44 積水化学工業株	1	1	
45 小林製薬株	1	1	
46 武田薬品工業株	1	1	1
47 昭和電工株	1	1	
48 東拓工業株	1	1	1
49 株北川化成	1	1	1
製造（鉄鋼・非鉄金属等）			
50 MMCリョウテック株	1	1	
51 株神戸製鋼所	3	3	
52 マルホ発條工業株	1	1	
53 サンコール株	1	1	
54 株オーケーエム	3	2	1
55 古河AS株	1	1	
56 日立金属株	1	1	
57 株LIXIL	1	1	
58 エスエスアルミ株	1	1	
製造（はん用・業務用）			
59 沖電気工業株	1	1	
60 株クボタ	2	1	1
61 ニプロ株	1	1	
62 日立建機ティエラ株	1	1	1
63 株マキタ	4	4	
64 株フロウエル	1	1	
65 株ファインシンター	1	1	
66 株日立産機システム	1	1	1
67 株トップ精工	1	1	
68 DMG森精機株	2	1	1
69 東芝エレベータ株	1	1	1
70 住友重機械工業株	1	1	1
71 キヤノンマシナリー株	2	1	1
72 大和冷機工業株	1	1	
73 株不二越	1	1	1
74 富士車輛株	1	1	
製造（電子部品等）			
75 ニテコン株	5	4	1
76 日本電産株	1	1	1
77 株福井村田製作所	2	1	1
78 ローム株	3	2	1
79 NTN株	1	1	1
製造（電気・情報通信）			
80 セイコーエプソン株	1	1	1
81 株GSユアサ	3	3	
82 株ジーエス・ユアサ コーポレーション	1	1	
83 三菱電機株	1	1	
84 日本電気株	1	1	1
85 パナソニック株	1	1	1
86 ソニー株	1	1	1
87 東京エレクトロン株	1	1	1
88 古野電機株	1	1	
89 株日立製作所	1	1	1
90 富士電機株	2	1	1
91 松定プレジジョン株	1	1	
92 株ダイヘン	1	1	1
93 株日本デジタル研究所	1	1	
94 株リコー	1	1	1
95 株明電舎	1	1	1
96 株日立国際電気	1	1	1
97 キヤノンメディカルシステムズ株	1	1	
98 名古屋電機工業株	1	1	1
製造（輸送用機械）			
99 川崎重工業株	1	1	1
100 フタバ産業株	1	1	
101 本田技研工業株	4	3	1
102 ヤンマー株	1	1	1
103 スズキ株	1	1	1
104 株エクセディ	1	1	1
105 尾張精機株	1	1	1
106 太平洋工業株	1	1	1
107 株モリタホールディングス	1	1	1
108 林テレンプ株	1	1	1
製造（その他製造）			
109 タカラスタンダード株	1	1	1
110 TOTO株	1	1	1
111 エンゼルブレイングカード株	1	1	1
112 大王製紙株	1	1	1
113 レンゴー株	1	1	1
114 株イテグチ	1	1	1
115 株イトーキ	1	1	1

令和元年度就職状況

〔経済学部〕

○進路別内訳

令和2年5月1日現在

	計	男子	女子
卒業生	613	369	244
進学者			
大学院	13	10	3
大学学部等	3	2	1
専修学校等	0	0	0
就職者			
企業就職	507	306	201
公務員	59	35	24
その他	31	16	15

進学先・就職先一覧

○進路先内訳

進路先	計	男	女
1 滋賀大学大学院 経済学研究科	2	2	
2 滋賀大学大学院 データサイエンス研究科	3	3	
3 名古屋大学大学院 環境学研究科	1	1	
4 神戸大学大学院 経済学研究科	1	1	
5 神戸大学大学院 国際文化学研究科	1	1	
6 神戸大学大学院 経営学研究科	1	1	
7 東京大学大学院 総合文化研究科	1	1	
8 和歌山県立医科大学大学院 医学研究科	1	1	
9 同志社大学大学院 総合文化研究科	1	1	
10 King's college london - mac entrepreneurship	1	1	
11 京都橋大学	1	1	
12 佛教大学	1	1	
13 台中科技大学	1	1	

○就職先内訳（産業別・業種別）

会社名	計	男	女
鉱業・採石業			
1 国際石油開発帝石株	1	1	
建設業			
2 株浅沼組	1	1	1
3 清水建設株	1	1	
4 パナソニックホームズ株	2	2	
5 鹿島建設株	1	1	
6 住友林業株	1	1	
7 株大林組	1	1	1
8 三菱電機プラントエンジニアリング株	4	4	
9 佐藤工業株	2	2	
10 岐建株	1	1	1
11 スウェーデンハウス株	1	1	1
12 株西原環境	1	1	
13 株ワークホームズ	1	1	1
14 株桑原組	1	1	1
15 鉄建建設株	1	1	
16 株塩浜工業	1	1	
17 五洋建設株	1	1	
18 東急建設株	1	1	
19 北陸電気工事株	1	1	
20 北陸ミサワホーム株	1	1	
21 東海電設株	1	1	
22 エム・エム ブリッジ株	1	1	
23 杉崎基礎株	1	1	
製造（食料・飲料等）			
24 日本ピュアフード株	1	1	
25 山崎製パン株	2	2	
26 日本たばこ産業株	1	1	
27 伊藤ハム株	1	1	
28 ムソー株	1	1	1
29 サッポロビール株	1	1	1
製造（繊維工業）			
30 デザントジャパン株	1	1	
31 株ワコール	1	1	
32 東レ・テキスタイル株	1	1	
製造（印刷・同関連業）			
33 佐川印刷株	1	1	
34 株トップランググラフィックコミュニケーションズ	1	1	
製造（化学・石油等製品）			
35 フタムラ化学株	1	1	
36 花王株	1	1	
37 資生堂株	1	1	
38 三菱ケミカル株	1	1	

会社名		計	男	女
その他教育				
349	㈱ウィルウェイ 馬淵教育グループ	1	1	
350	近江八幡自動車教習所	1	1	
医療・保健				
351	医療法人 輝山会記念病院	1		1
352	愛知県厚生農業協同組合連合会	1	1	
社会保険・福祉				
353	全国健康保険協会	1		1
354	社会保険診療報酬支払基金	1	1	
355	こども園あるこ	1	1	
356	聖隷福祉事業団	1	1	1
複合サービス				
357	JA兵庫中央会	1	1	
358	グリーン大阪農業協同組合	1		1
359	全国農業協同組合連合会	1	1	
360	愛知県農業協同組合中央会	1	1	
宗教				
361	一般財団法人本願寺文化興隆財団	1		1
その他サービス				
362	㈱アウトソーシングテクノロジー	2		2
363	㈱イオンディライト	1	1	
364	㈱ホールハート	1	1	
365	㈱アクティング	1		1
366	㈱FUNDBOOK	1	1	
367	独立行政法人地域医療機能推進機構	1		1
368	エンジャパン㈱	1	1	
369	㈱トラスト・テック	1	1	
370	㈱ATビジネス	2		2
371	キャリアグループ	1	1	
372	ユナイテッド㈱	1		1
373	旭化成アミダス㈱	1	1	
374	SOLIZE Engineering㈱	1		1
375	ライク㈱	1	1	
376	㈱タイズ	1	1	
377	有限会社ひよこカンパニー	1		1
378	㈱マッシュ	1	1	
379	一般財団法人 今日庵	1		1
380	㈱ユー・エス・エス	1		1
381	ディップ㈱	1	1	
382	㈱エイジェック	1	1	
383	㈱ニチイ学館	1	1	
384	マークラインズ㈱	1		1
385	㈱アフロ	1	1	
386	㈱アイ・エヌ・ジー	1	1	
387	㈱日立ハイテクフィールディング	1		1
388	㈱日本ケイテム	1	1	
国家公務				
389	中部経済産業局	1	1	
403	名古屋国税局	5	2	3
391	名古屋税関	1		1
392	大阪検疫所	1	1	
393	大阪国税局	2	2	
394	滋賀労働局	2	1	1
395	中部地方整備局	1	1	
396	厚生労働省	1	1	
397	近畿総合通信局	1	1	
398	国土交通省	2	1	1
399	三重労働局	1	1	
400	金沢地方方法務局	1	1	
401	東京税関	1	1	
地方公務				
402	愛知県庁	3	2	1
403	一宮市役所	2	2	
404	近江八幡市役所	2	1	1
405	滋賀県庁	11	6	5
406	鳥取県庁	1	1	1
407	志摩市役所	1	1	
408	明和町役場	1	1	
409	蟹江町役場	2		2
410	名古屋市役所	1	1	
411	滋賀県公立学校 高等学校教員	1	1	
412	奈良県庁	1	1	
413	野洲市役所	1		1
414	岐阜市役所	2	1	1
415	兵庫県庁	1		1
416	岐阜県警察	1		1
417	神奈川県	1	1	
418	守山市役所	1		1
419	出雲市役所	1	1	
420	和歌山県庁	1		1
421	福岡県庁	1	1	
422	瀬戸市役所	1	1	
423	京都府公立学校職員	2	1	1

会社名		計	男	女
275	京都中央信用金庫	3		3
276	知多信用金庫	1	1	
277	㈱商工組合中央金庫	2	1	1
278	大同信用組合	1	1	
279	岐阜信用金庫	1	1	
280	大阪商工信用金庫	1		1
281	栃木信用金庫	1	1	
282	富山信用金庫	1	1	1
金融（証券）				
283	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	1	1	
284	SMBC日興証券㈱	3	1	2
285	東海東京フィナンシャル・ホールディングス㈱	1	1	
286	野村證券㈱	1	1	
金融（その他）				
287	大阪ガスファイナンス㈱	1	1	1
288	オリックス㈱	3	2	1
289	トヨタファイナンス㈱	5	2	3
290	芙蓉総合リース㈱	1	1	
291	三井住友トラスト・バネソニックファイナンス㈱	1	1	1
292	りそなカード㈱	1	1	
293	三菱電機クレジット㈱	1	1	
294	NTTファイナンス㈱	3	2	1
295	愛知県信用保証協会	1		1
296	大和証券投資信託委託㈱	1	1	
297	三菱UFJニコス㈱	1	1	
298	㈱ジェシービー	1	1	1
299	三井住友トラスト・アセットマネジメント㈱	1	1	
300	㈱日本政策金融公庫	2	1	1
301	リコーリース ㈱	1	1	
302	㈱FBS	1	1	
303	京都信用保証協会	1	1	
304	三菱UFJリース㈱	1	1	
305	㈱日産フィナンシャルサービス	2	1	1
306	滋賀県信用保証協会	1		1
307	SMBCコンシューマーファイナンス㈱	1	1	
保険業				
308	三井住友海上火災保険㈱	1	1	1
309	日本生命保険相互会社	2	2	
310	東京海上日動あんしん生命保険㈱	1	1	
311	チューリッヒ保険会社	2	2	
312	住友生命保険相互会社	3	1	2
313	損害保険ジャパン日本興亜㈱	1	1	
314	全国労働者共済生活協同組合連合会	1	1	
315	第一生命保険㈱	1	1	
316	大同生命保険㈱	1	1	
不動産・賃貸業				
317	㈱クレアスライフ	1	1	
318	㈱ティーケーピー	1	1	1
319	日本駐車場開発㈱	1	1	
320	三井不動産リアルティ㈱	1	1	
321	㈱カチタス	1	1	1
物品賃貸業				
322	㈱エストコーポレーション	1	1	
323	住友三井オートサービス㈱	1	1	
324	㈱トヨタレンタカーリース神戸	1	1	1
325	キリックスリース㈱	1	1	
その他専門・技術				
326	アビームコンサルティング㈱	2	1	1
327	ASUE㈱	1	1	1
328	㈱日本SPセンター	1	1	1
329	㈱新東通信	1	1	
330	コンパソツ税理士法人	1	1	
331	税理士法人GROSSRORD	1	1	1
332	㈱シアトルコンサルティング	1	1	
333	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱	1	1	1
334	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム㈱	1	1	
335	㈱バリュウ・コマース	1	1	
336	㈱グッドニュース	1	1	1
337	㈱船井総合研究所	2		2
338	一般財団法人日本品質保証機構	1	1	
339	税理士法人 創経	1	1	
宿泊・飲食				
340	㈱ブロンコピラー	1	1	
341	㈱ゼンショーホールディングス	1	1	
342	㈱ヴィクセス	1	1	
343	㈱加賀屋	1	1	
生活関連サービス				
344	㈱メルフィス	1	1	
345	㈱日本旅行	1	1	
346	㈱JTB	1	1	1
347	社団法人プロギングジャパン	1	1	
学校教育				
348	(国) 滋賀大学	3	1	2

会社名		計	男	女
196	京阪バス㈱	1	1	1
197	㈱二葉	1	1	1
198	船井総研ロジ㈱	1	1	
199	㈱中央倉庫	1	1	
200	サントリーロジスティクス㈱	1	1	
201	碧南運送㈱	1	1	
202	JFE物流㈱	1	1	
203	㈱住化ロジスティクス	1	1	
204	A N A ウイングス㈱	1	1	1
205	菱倉運輸㈱	1	1	
206	日立建機ロジテック㈱	1	1	1
卸売業				
207	㈱たけびし	1	1	
208	トラスコ中山㈱	2	1	1
209	橋本総業㈱	1	1	
210	ユアサ商事㈱	3	3	
211	㈱シナジートレーディング	1	1	
212	三井物産㈱	1	1	
213	豊田通商㈱	2	2	
214	メモリー㈱	1	1	
215	JKホールディングス㈱	1	1	
216	千代田電子システム㈱	1	1	
217	丸紅㈱	3	1	2
218	富士ゼロックス愛知㈱	1	1	1
219	富士ゼロックス大阪㈱	1	1	
220	伊藤忠エネクス㈱	1	1	1
221	CB2㈱	1	1	
222	リコージャパン㈱	1	1	
223	青木興工㈱	1	1	
224	㈱ファーマインド	1	1	1
225	林六㈱	1	1	
226	扇港産業㈱	1	1	
227	コンドーテック㈱	1	1	1
228	ブラザー販売㈱	1	1	
229	平和商事㈱	1	1	
230	富士フィルムメディカル㈱	1	1	
231	鈴与商事㈱	1	1	1
232	石黒メディカルシステム㈱	1	1	
233	㈱柴田屋酒店	1	1	
234	ナブテスコサービス㈱	1	1	1
小売業				
235	㈱アビステ	1	1	
236	イオンリテール㈱	2		2
237	㈱ウイズ	1	1	1
238	㈱バイク王&カンパニー	1	1	
239	㈱ニトリ	2	2	
240	㈱キタムラ	1	1	
241	㈱ダンロップスポーツマーケティング	1	1	1
242	㈱三洋堂ホールディングス	2		2
243	㈱ローソン	1	1	
244	㈱平和堂	2	2	
245	㈱コメ兵	2	1	1
246	ウエルシア薬局㈱	1	1	
247	㈱良品計画	1	1	1
248	㈱スクリのアオキ	4	1	3
249	㈱アーバンリサーチ	1	1	
250	㈱エム・マーケット	1	1	
251	㈱ライフコーポレーション	1	1	
252	LVMHグループ	1	1	1
253	G.Oホールディングス	1	1	1
254	㈱やまと	1	1	1
255	㈱ジンス	1	1	1
256	西日本三菱自動車販売㈱	1	1	1
金融（銀行）				
257	㈱あおぞら銀行	1	1	
258	㈱大垣共立銀行	3	3	
259	㈱関西みらい銀行	2	1	1
260	㈱京都銀行	3	2	1
261	㈱滋賀銀行	6	3	3
262	㈱十六銀行	6	5	1
263	㈱名古屋銀行	2		2
264	㈱百五銀行	6	3	3
265	㈱百十四銀行	1	1	1
266	㈱福井銀行	1	1	1
267	㈱北陸銀行	1	1	
268	㈱三井住友銀行	3	2	1
269	三井住友信託銀行㈱	2	1	1
270	㈱静岡銀行	1	1	
271	㈱みずほフィナンシャルグループ	1	1	
272	日本銀行	1	1	1
273	㈱SMBC信託銀行	1	1	
274	㈱三菱UFJ銀行	2	2	
金融（協同組織）				



「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生諸君の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的に、平成26年度から開始した制度です。

下表に記載しておりますサポート対象基準を満たすことにより、その功績を称え報奨金を給付するもので、これまでに286件に対して給付いたしました。報奨された学生からは「更なるステップアップのため資金としたい。」等との頼もしい発言もあり、今後も、多くの学生諸君からの応募を期待しております。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ぜひ本制度をお子様にお伝えいただきたく存じます。

今後も、より良き制度に改善して行きたく、会員の皆さまからのご意見等をお待ちしております。

【お問い合わせ】
 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務係
 TEL 074912711030

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度

- 趣旨
この制度は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的とする。
- ガイドライン
滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度の運用にあたり、次のとおりガイドラインを定める。
なお、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、ガイドラインに示す額を上限とし予算の範囲内において決定する。

分類	サポート対象事項	基準	報奨額(上限)
資格・認定試験	1. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	70,000円
		2科目同時合格者	100,000円
	2. 公認会計士試験	②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	40,000円
		「短答式試験」合格者	100,000円
	3. 日商簿記検定試験	「論文式試験」合格者	50,000円
		「一級」合格者	50,000円
	4. 証券アナリスト試験	「第1次レベル試験」合格者	30,000円
「第2次レベル試験」合格者		40,000円	
5. データベーススペシャリスト試験	合格者	50,000円	
6. 品質管理検定	「一級」合格者	50,000円	
	「統計数理」、「統計応用」のいずれか1科目合格者	50,000円	
7. 統計検定「一級」	2科目目合格者	20,000円	
	8. TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験又は帰国子女入試枠での入学者及び外国人留学生は除く。)	800点以上	30,000円
語学試験		900点以上	50,000円
	9. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。)	アジア圏	40,000円
その他		80,000円	
その他	10. スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1～8に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。	

注) ①「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
 ②「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
 ③編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。
 ④「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。
 ⑤「その他」の資格申請(第2次試験合格をもって資格取得となる中小企業診断士等)の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。
 ⑥対象者は、経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で(休学中を含む。)在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者とする。ただし、入学年度の9月末日(秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日)までに後援会費を未納の場合は対象としない。
 ⑦報奨額については、経済学・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て調整することができる。
 ⑧本ガイドラインの改廃は、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て決定する。

後援会総会

例年、入学式後に経済学部・データサイエンス学部後援会総会を開催しておりますが、このたびの社会情勢に鑑み、入学式同様、後援会総会も中止させていただきました。この場をお借りして、改めてお詫び申し上げます。

さて、本紙13、14ページに記載している「令和元年度決算、令和2年度予算案及び令和2年度新委員」につきましては、後援会規約により総会の審議事項となっておりますため、本紙面にてご提案させていただきます。

新体制で後援会を益々盛り上げていく所存でございますので、ご承認くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、内容に関するご意見・ご質問等につきましては、以下にお問い合わせください。

【お問い合わせ】滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務係 TEL 0749-27-1030

令和元年度 経済学部後援会収支報告

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	3,558,260	
会費(学部新入生)	12,857,000	559人×@23,000
会費(編入生)	299,000	26人×@11,500
会費(5年一貫・前期)	5,750	1人×@5,750
会費(大学院新入生・前期)	425,500	37人×@11,500
会費(大学院新入生・後期)	51,750	3人×@17,250
利息	94	
収入合計	17,197,354	

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	過不足額	備考
①厚生体育費補助	2,960,000	2,713,186	246,814	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	1,176,369	143,631	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	67,000	3,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	1,002,903	2,497,097	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	900,000	0	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	33,404	206,596	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	410,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	260,000	193,897	66,103	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	600,000	502,638	97,362	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	350,000	330,460	19,540	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	11,622	18,378	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	100,000	0	留学生後援会援助
⑬資格取得等報奨金	2,530,000	2,530,000	0	資格取得等報奨金
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	100,000	0	
⑮情報教育充実費	1,000,000	803,842	196,158	
⑯予備費	2,827,354	231,044	2,596,310	
支出合計	17,197,354	11,106,365	6,090,989	

令和元年度 図書充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	421,054	
会費(学部新入生)	559,000	559人×@1,000
会費(編入生)	13,000	26人×@500
会費(5年一貫・前期)	250	1人×@250
会費(大学院新入生・前期)	18,500	37人×@500
会費(大学院新入生・後期)	2,250	3人×@750
利息(8月分)	3	
利息(2月分)	2	
収入合計	1,014,059	

科目	決算額	備考
図書購入費等	709,137	
次年度繰越額	304,922	
支出合計	1,014,059	

令和元年度 体育充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	402,553	
会費(学部新入生)	559,000	559人×@1,000
会費(編入生)	13,000	26人×@500
会費(5年一貫・前期)	250	1人×@250
会費(大学院新入生・前期)	18,500	37人×@500
会費(大学院新入生・後期)	2,250	3人×@750
利息(8月分)	3	
利息(2月分)	2	
収入合計	995,558	

科目	決算額	備考
近国体分担金	259,750	
ゴルフ実習費	78,660	
スキー教室経費	268,409	
次年度繰越額	388,739	
支出合計	995,558	

令和元年度 資格取得等報奨金予算

収入

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	1,735,519	
資格取得等報奨金 会費	2,530,000	
利息(8月分)	15	
利息(2月分)	9	
収入合計	4,265,543	

科目	決算額	備考
支出額	2,171,212	
次年度繰越額	2,094,331	
支出合計	4,265,543	

令和2年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入

(単位:円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	6,090,989	
会費(学部新入生)	12,696,000	552人×@23,000
会費(編入生)	230,000	20人×@11,500
会費(大学院新入生・前期)	379,500	33人×@11,500
会費(大学院新入生・後期)	34,500	2人×@17,250
利息	100	
収入合計	19,431,089	

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	2,960,000	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	260,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	600,000	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	350,000	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	留学生後援会援助金
⑬資格取得等報奨金	2,200,000	資格取得等報奨金
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	
⑮情報教育充実費	1,000,000	
⑯予備費	5,391,089	
支出合計	19,431,089	

令和2年度 図書充実費予算

収入

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	304,922	
会費(学部新入生)	552,000	552人×@1,000
会費(編入生)	10,000	20人×@500
会費(大学院新入生・前期)	16,500	33人×@500
会費(大学院新入生・後期)	1,500	2人×@750
利息(見込)	5	
収入合計	884,927	

科目	予算額	備考
図書購入費等	600,000	
予備費	284,927	
支出合計	884,927	

令和2年度 体育充実費予算

収入

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	388,739	
会費(学部新入生)	552,000	552人×@1,000
会費(編入生)	10,000	20人×@500
会費(大学院新入生・前期)	16,500	33人×@500
会費(大学院新入生・後期)	1,500	2人×@750
利息(見込)	5	
収入合計	968,744	

科目	予算額	備考
近国体分担金	330,000	
ゴルフ実習費	100,000	
スキー教室経費	200,000	
予備費	338,744	
支出合計	968,744	

令和2年度 資格取得等報奨金予算

収入

支出

(単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	2,094,331	
資格取得等報奨金 会費	2,200,000	
利息(見込)	24	
収入合計	4,294,355	

科目	予算額	備考
資格取得等報奨金(R1)	2,171,212	
次年度繰越予定額		
資格取得等報奨金(R2)	2,123,143	
支出合計	4,294,355	

令和2年度 後援会役員名簿

会長	戸田 茂	幹事	和田 恵美	委員	西田 隆弘
副会長	伊藤 正之	幹事	田中 伸英	委員	近井はるみ
副会長	尾上志津夫	監事	鶴田 千春	委員	森野 陽子
幹事	草野 紀子	監事	松橋 勇次	委員	村木 雅直
幹事	寺橋 豊重	委員	横幕智代美	委員	土井 忠史
幹事	堀部 千夏	委員	毛利 哲也		

編集後記

後援会だよりは次のURLでもご覧頂けます。
<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>
 記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対する要望、ご意見等をお聞かせください。

(送付先)

滋賀大学 経済学部・DS学部共通事務部総務係

E-mail ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp

FAX 0749-27-1132

令和2年度 学年暦・主要な行事（予定）

《春学期》 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、本年度は多くの行事が中止又は延期となっております。

(注) 変更される場合があります。

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
3	23(月)	成績発表(ササセズ(Web)で確認)		新歓祭⇒【中止】 新入生オリエンテーション(キャンパスライフ講習会)⇒【中止】
4	1(水)	入学式(びわ湖ホール)⇒【中止】		
	7(火)	新入生オリエンテーション【4/8(水)～10(金)経済学部新入生オリエンテーションは中止】		
5	8(水)・20(月)	春学期授業開始(4/8～DS研究科、4/20～経済/DS学部、経済学研究科)		イギリス研修説明会⇒【中止】
	23(水) 昭和の日	授業日		海外留学相談会⇒【延期】 近畿地区国立大学体育大会⇒【中止】 ミシガン研修説明会⇒【中止】 新入生歓迎ラウンズ⇒【中止】 フレッシュアップ・キャンパス⇒【中止】 開学記念日 滋和2大学学長杯争奪総合定期戦結団式⇒【中止】
6	初旬	～ 12月中旬		
	23(土)	TOEIC-IP試験(2020年度・2018年度入学生(民間生)全員、その他希望者)⇒【中止】		
7	31(日)			
	6(土)	成績優秀者表彰式⇒【中止】		
8	中旬			
	20(土)	～ 21(日)		
9	下旬			
	27(土)	授業日(月曜日の授業)⇒【中止】		
10	下旬			
	1(土)	授業日(火曜日の授業)⇒【中止】		
11	18(土)	補講日		
	7(金)	春学期授業終了		
12	下旬			
	9月上旬	夏季休業、集中講義		
1	9/30(水)			
	26(水)	～ 27(木)		
2	下旬			
	9月中旬	経済学研究科博士後期課程D2研究報告会(11月上旬までの間)		
3	中旬			
	下旬			
4	中旬			
	下旬			

その他の情報は
大学のホームページから

滋賀大学のホームページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>



コミュニケーション

在学生・保護者の方

- ◇ 通知を見る(休講・補講等)
- ◇ 学習について調べる(学年履等)
- ◇ 大学の支援を調べる(奨学金・授業料免除等)

- ◇ 就職・資格について調べる(取得できる資格等)
- ◇ 大学生生活を調べる(住居・課外活動・アルバイト等)
- ◇ 滋賀県と滋賀大学をを知る(広報誌などがたい等)

《 秋学期 》

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
10	1(木)	秋学期授業開始	SPI対策講座	TOEFL対策講座【未定】
	10(土)	経済学研究科博士後期課程D3中間研究報告会	第3回就職ガイダンス(3回生)	定例学生総会、体育総会、文サ連総会 学内セミナー大会
	24(土)	授業日(金曜日の授業)		榎本杯争奪駅伝大会 大学祭
	30(金)	彦根地区キャンパス休講		
	31(土)	～ 11月1(日)		
11	22(日)	統計検定(2019年度DSS学部入学者全員、その他希望者)		
	23(月) 勤労感謝の日 28(土) ～ 29(日)	授業日	第4回就職ガイダンス(3回生) 慶水会計人会による学生説明会・懇談会(3回生) 3回生就職希望者の個別進路面談(3回生) 第5回就職ガイダンス(3回生) 第6回就職ガイダンス(3回生) 第41回慶水懇話会(3回生)	リーダーズトレーニング
12	24(木) ～ 1/3(日)	冬季休業、集中講義	第7回就職ガイダンス(3回生)	
	4(月)	授業再開	若手卒業生による就活相談会 第8回就職ガイダンス(3回生)	
1	9(土)	補講日		
	15(金) ～ 17(日) 23(土) 26(火)	休講及び入構禁止(大学入学共通テスト準備及びテスト) 補講日 秋学期授業終了		
	27(水)	～ 2/9(火)	女子学生のための慶水キャリアガイダンス(3回生)	
2	中旬	入構禁止(前期日程入学試験準備及び試験)		
	中旬 ～ 3月中旬 下旬 ～ 3月上旬 下旬			
3	24(水)	入構禁止(後期日程入学試験準備及び試験)		
	中旬 11(木) ～ 12(金) 26(金)	入構禁止(後期日程入学試験準備及び試験) 卒業式(ひこね市文化プラザ)	経済学部学内就職セミナー【学内合同企業説明会】(3回生)	中国語研修(東北財経大学)【未定】 卒業祝賀会

(注) 変更される場合があります。

これらに関するご質問、
ご対応へお問い合わせ
ください



<p>○授業・休学・退学に関するご質問 学務課教務係(学部) 0749-27-1031(ダイヤルイン)</p> <p>○授業料免除・奨学金に関するご質問 学務課大学院係(大学院) 0749-27-1032(ダイヤルイン)</p>	<p>○学生生活・クラブ活動等に関するご質問 学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン)</p> <p>○就職・進学に関するご質問 学生支援課就職係 0749-27-1021(ダイヤルイン)</p>	<p>○留学に関するご質問 国際交流課国際交流係 0749-27-1430(ダイヤルイン)</p> <p>障がい学生支援室 0749-27-8166(ダイヤルイン)</p>
--	---	--